

名岐道路の早期事業化及び名神高速道路尾張一宮パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジ設置を求める決議

本市を含む尾張地域と岐阜地域は、経済活動において結びつきが強く、また、名神高速道路や東海北陸自動車道などの高速道路や国道22号などの幹線道路があり、広域連携を図る交通の要衝としての役割を担っている。

しかしながら、名古屋都心部と両地域を結ぶ国道22号は、交通量が多く、信号連坦のため著しい速度低下が見られるとともに、交差道路にも渋滞が発生しており、さらに、名神高速道路においても東海北陸自動車道と合流する一宮ジャンクション付近から一宮インターチェンジまで慢性的な渋滞が発生している。名岐道路の整備により、国道22号や名神高速道路一宮ジャンクション付近の渋滞緩和など交通課題の解消が期待されるとともに、名古屋都心部と両地域の連携強化により、リニア開業による効果を広く波及させ、昇龍道プロジェクトをはじめとする広域観光周遊ルートを確立することで、関係地域のよりいっそうの発展を促す効果が期待できる。

さらに、激甚化する自然災害や南海トラフ地震の発生が危惧される本市において、市民の生命・財産を守る防災・減災、国土強靱化の観点から道路ネットワークの代替性・多重性の確保が図られる。

また、名神高速道路の尾張一宮パーキングエリア周辺は、新たな産業拠点と位置付けられており、本市のよりいっそうの発展への大きなポテンシャルを秘めた地域であり、高速道路へのアクセス機能強化、利便性の向上を図ることが必要である。尾張一宮パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置することにより、高速道路の利便性が向上し、地域経済の活性化に寄与するだけでなく、一宮インターチェンジや周辺道路の渋滞緩和による定時性・速達性の確保、周辺地域の交通安全性の向上が期待でき、さらに防災機能の強化や医療活動の支援など多面的な波及効果も期待できる。

よって、本市議会は、名岐道路の早期事業化及び名神高速道路の尾張一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジ設置を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和5年9月22日

一宮市議会